

みんなでつくろう！賃上げが当たり前の社会

2025春季生活闘争ニュース

2025.6.5 - 第22号- 連合北海道 春季生活闘争本部

2025 春季生活闘争 第6回回答集計結果について

連合本部は、2025 春季生活闘争につき、6月2日（月）10時の時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

- 平均賃金方式で回答を引き出した4,863組合の加重平均（規模計）は16,399円・5.26%（昨年同時期比1,163 円増・0.18ポイント増）となった。300人未満の中小組合（3,412組合）は12,453 円・4.70%（同1,092 円増・0.25 ポイント増）であった。いずれも昨年同時期を上回っている。
- 賃上げ分が明確にわかる3,339組合の賃上げ分は11,763円・3.71%（同1,115円増・0.17 ポイント増）、うち中小組合（2,071組合）の賃上げ分は9,511円・3.51%（同1,220円増・0.35ポイント増）で、賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した2015闘争以降の最終集計結果と比べ、最も高い。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給 67.02円（同4.32円増）と、昨年同時期を上回った。時給の引上げ率（概算）は5.81%で、一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。
- すべての労働者の立場にたった「働き方」の改善やジェンダー平等・多様性の推進に向けても引き続き数多くの取り組みがなされている。

連合北海道は、6月5日（月）10時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 連合北海道にエントリーのあった 190組合中 155組合が妥結した（81.5%）。うち、集計可能な回答を引き出した組合は149組合・集計人数は43,123人であった。
- 月例賃金の加重平均は 13,797 円・4.93%（昨年同時期比 819 円・0.30 ポイント増）の引き上げとなり、同様の集計を始めた 2016 闘争以降で最も高い数値となっている。
- 集計可能な回答を引き出した 149 組合のうちベースアップ分が明確にわかる 123 組合、全体では 9,211 円・3.33%（同 177 円・0.36 ポイント増）であった。うち 300 人未満の組合では 9,499 円・3.67%（同 313 円・0.18 ポイント増）となり全体および 300 人以上の組合の 9,120 円・3.22%（同 129 円・0.42 ポイント増）を上回った。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給 64.45 円・5.70%、月給 10,685 円・4.59%の引き上げとなった。

【組合規模別賃上げ状況 2025 年 6 月 5 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99 人	63	2,913 人	11,898 円(4.81%)	9,040 円(3.82%)	2,858 円(0.99%)
100～299 人	51	8,706 人	12,195 円(4.73%)	12,285 円(4.95%)	▲90 円(▲0.22%)
300 人未満計	114	11,619 人	12,116 円(4.75%)	11,129 円(4.54%)	987 円(0.21%)
300～999 人	27	12,796 人	14,815 円(5.42%)	13,181 円(5.01%)	1,634 円(0.41%)
1,000 人～	8	18,708 人	14,083 円(4.74%)	13,526 円(4.47%)	557 円(0.27%)
300 人以上計	35	31,504 人	14,345 円(4.98%)	13,430 円(4.66%)	915 円(0.32%)
計	149	43,123 人	13,797 円(4.93%)	12,978 円(4.63%)	819 円(0.30%)